

令和元年度 第2回 雇用促進・就労定着プロジェクト 終了報告

去る、令和元年7月31日、第2回『雇用促進・就労定着プロジェクト』を開催致しました。今年度より、企業の担当者の方を対象とした研修会を『雇用促進・就労定着プロジェクト』と名前を改め、今回が事実上の発足会となりました。

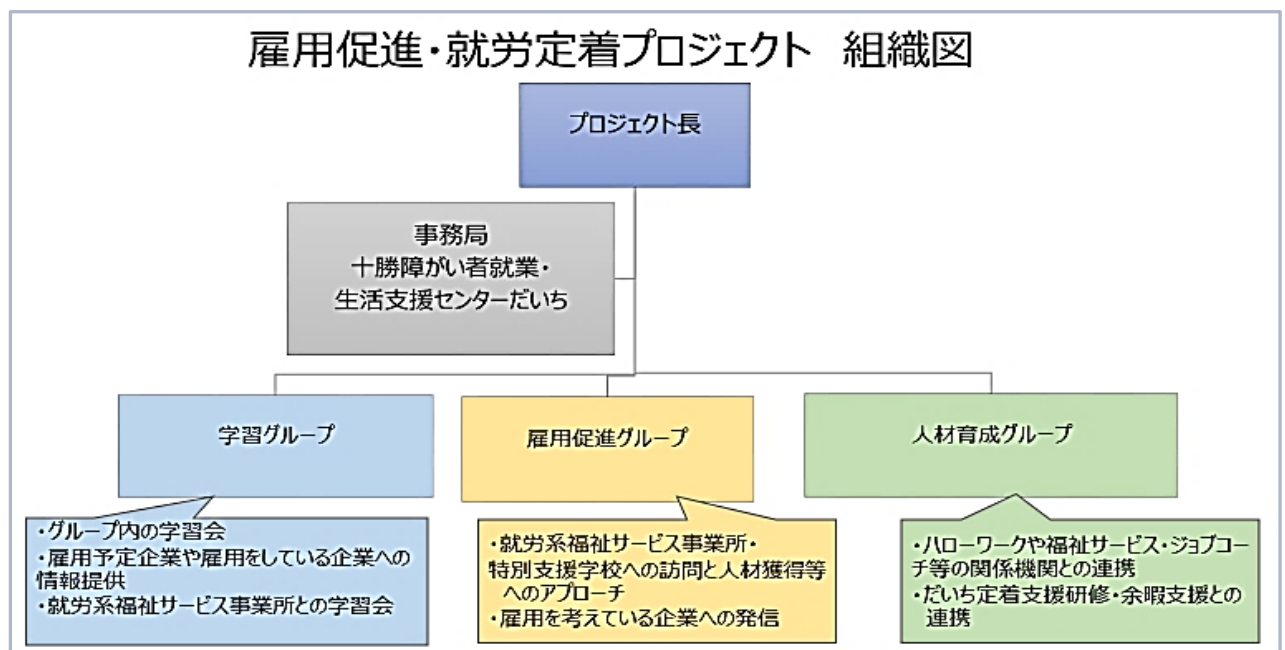
発足会時点でのプロジェクトチーム参加企業は15社ですが、会の趣旨に賛同いただける企業の皆様を引き続き募集していきます。



このプロジェクトの目的は、「雇用している方の個別的なサポートに関する悩みや課題の解決」「企業間の情報交換の場」「新規就職者獲得」の三点です。

そこで、参加者を3つのグループに分け、具体的な活動を検討していくこととなりました。

発足会では、プロジェクトメンバーからの積極的な意見が聞かれ、皆さんが主体的に考え、会を運営していこうという気持ちを感じることができました。



グループ活動の内容について話し合われた内容はこちらです。

<雇用促進グループ>

・就労系福祉サービス事業所の見学会を行いたい

理由) どのような方が利用しているかを知りたい・どのような人材がいるかを知りたい

自社にマッチするような人材がいるかを知りたい

配慮の工夫やノウハウなど、事業所の活動内容を知りたい

就労系福祉サービス事業所からの就職者もいるが、就職者が少なく定着できない事例もある

※そのため、訓練の様子や受けている配慮を知り、雇用管理や採用につなげるため、9月に就労系福祉

サービス事業所の見学を行うことになりました

<学習グループ>

- ・雇用に向けた準備として、制度や障がい別の特徴を学びたい
 - ・雇用している従業員に対する関わり方に苦慮している。仕事の内容はどこまで求めるべきかなど、考え方について講義や事例を通して学びたい
 - ・身体障がいの方を雇用しているが、社員がお世話係のようにになっている。今の状況を好転させるために学びたい
- ※学びたい具体的な内容が上がりましたので、今後の学習会に取り入れていきます

<人材育成グループ>

- ・研修参加者の障がい種別が混ざり合っているため、特性ごとに分けたほうが良いのではないか
- ・研修の人数が多いため、一人ひとりにスポットが当たりにくくなっているのではないか
- ・新人職員とベテラン職員が同じ研修を受ける形になっている印象がある

※今後、定着支援研修、余暇支援に関する企業目線でのアドバイスを行うことを確認しました

プロジェクトの取り組みとして、8月8日の「企業で働く障がいをお持ちの方への定着支援研修会」に9名のメンバーにご参加いただきました。研修では、グループワークに入り話を進めたり、アドバイザーとして意見をいただきました。研修参加者からは「他の企業の人意見が聞けて良かった」「企業の話が参考になった」と感想が寄せられました。プロジェクトメンバーの皆様にとっても、障がいをお持ちの方たちがどのような気持ちで働いているかを知れる良い機会になったと考えています。

今後、学習会・就労系福祉サービス事業所見学会・企業文化についての研修会・企業の魅力発信イベントを予定しております。活動の内容は随時ホームページでお知らせしてまいりますので、ご覧ください。